

三ノ子谷ニモ産スル事ヲ御教示下サレタ

依テいはざくらノ產地トシテ目下知ルコトヲ得タノハ四國、九州、大和、伊勢、信濃（小生既知ノ場所二ヶ所）ト斷續スル五ヶ所トナリ此大鹿村ハ其東北限トナツタワケデアル

因ミニ、信濃教育會下伊那郡部會編纂ノ「赤石登山案内」(一九二三年七月二十五日發行)二八頁ニいはざくらト思ハル、モノ、腊葉寫眞アルモタゞ番號ノミデ和名ヲ省略シテアル(こゝにはざくらニハ番號及ビ和名モ記サレテキルガ)即チ此地(大鹿村)デ採集ダケハ少クトモ小生ヨリ一ケ年早ク爲サレテ居タノデアラウト思フ小泉秀雄氏著『日本南アルプス寒地植物誌』(一九二四年三月十七日發行)ニハ此大鹿村ニいはざくらノ産スルコトノ有無及ビ該草ニ就テノ收録ハ無イ

〔牧野曰フ〕いはざくら伊勢ノ菰野山ニ産スルコトハ舊クカラ濃尾ノ草木學者ニハ知ラレテ居ツタモノト見ル、伊藤圭介著『日本植物圖説』ニハ勢州菰野湯ノ山大石ノ邊ニ多シト記シ菰野ニテハ方言ツざくらとて呼ボクガ書イタルモノニモア
ト見エテ居ル、いはざくらノ名ハ多分徳川末葉時代ニ尾州名古屋ノ同好學者連ガ付ケタモノデ水谷豐文著『物品識名拾遺』昭和二年ヨリ西
年前ノ文政八年刊行、ニハ「イハザクラウニ似タリ」ト出テ居ル、今ハ故人トナッタ伊勢四日市ノ川崎光次郎君ガ同國園藝
境方面ニ在ル何トカ云フ山ニハ澤山生ジテ居ル聞イタコトガアルガ残念ナコトニハ私ハ今其山名ヲ逸シテ覺エテ居ナイガ汽車ノ臆カラ其山ヲ
遠望シテ通ツタカラ復タ其處ヲ通レバドノ山ト云フコトグライハ判ルデアラウ

正誤 ●第四卷第一號表紙、結水 ム 氷華 ○口繪入に「覽左側ノ文三行 明治九年 ム 明治七年 ○(28)頁、圖下ム 結水 ム 氷華 ○口繪まめちちトセル寫眞ハ
 (26)頁、左ヨリ六行 櫻田ノ上ニ「氷華」 ム 同第三號(35)頁、九行 Catarrha ム Cerraria ム
 みれざりナリナリ 靉々ナド近キ將來ニ於テ●同第二號(37)頁、取り換ハルツモリデアアル ○(59)頁、四行 東ノ山面 ム 西ノ山面 ○●
 第四號表紙(81)(82)(85)(88)(92)(94)(96)(93)(99)(102)(104)(105)(106) ム順次 ム(85)(86)(89)(93)(96)(98)(100)(102)(103)(106)(108)(109)
 (109)(110)ト改メ○口繪みぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢヅ 學名 Erithrichum ム Erithrichum ○頁數(81) ム(85) ム改メ以下順ヲ追テ之ニ從ヒテ其數ヲ
 訂正シ最後ノ(106)頁(110)ト改メヲ止シ故ニ(85) ム(89) ムナナリ(90) ム(94) ムナナリ(95) ム(96) ム(98) ム(100) ムナナリ(104) ムナナリ
 (106) ナナリ他ノ頁亦同ジ割合チ變クルモノナル Erithrichum ム 舊ノ(81)頁、改正ノ(85)頁、左カラ七行 祝詞と申語 ム 祝辭と申辭 ○歐文表紙
 Seikine ム SEIKINE DAY ム nor Erithrichum ム Erithrichum Hakone-Yadake? ム 續ニ(110)頁、除ク Matsunoi、ハ
 Nakaui criticism ム Nakarui criticism ivestry ム University Pagan? ム(81)(82)(85)(89) ム除ク Matsunoi、ハ
 (104)(105)(106) ム順次 ム(85)(86)(89)(93)(96)(98)(100)(102)(103)(106)(108)(109)(110) ム訂正ム